

平成 27 年 12 月 16 日  
世田谷区立池之上小学校  
指導教諭 橋本 ひろみ

## 道徳科の授業の評価について ～評価は授業の質の向上の延長線上に～

### 1 はじめに

平成 27 年 2 月、一般財団法人 総合初等教育研究所が主催する研究発表大会において、「確かな学びの実現を図る」～指導に生きる評価の充実～のテーマのもと、道徳の時間の評価についての研究実践を発表させていただきました。それをもとに、道徳科の評価について私の考えをまとめてみました。御検討いただきたいと思います。

### 2 授業の質の向上と、評価

全国どの学校でも特質を生かした授業が当たり前に行われるようになれば、評価は確かなものになる  
どのように評価するかは、授業をどのように深めるかの延長線上

#### 「特別の教科 道徳」の目標

「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」



—— 小学校 解説 16 ページでは、これらを四つに分けて解説

- ①道徳的諸価値についての理解する。
- ②自己を見つめる。
- ③物事を多面的・多角的に考える。
- ④自己の生き方についての考えを深める。

学習指導要領 解説でも、11月30日の会議資料「資料1」「別紙1」でも、指導方法の工夫、開発は、これらの特質を踏まえて行うという方向性は一貫している。

全国どこの学校でも、この四つの学習を踏まえた指導の計画のもと授業が行われるようになることを目指す。このことが、何について（四つの学習）、どの場面で（学習活動）どのように見取るのか（指導の工夫と期待される児童の学習）という、児童の学習状況の把握につながる。目標に準拠した評価ではなく、道徳科の授業で児童がどのような学習をしたのかを評価する。

### 3 「特別な教科 道徳」の評価

#### 「特別な教科 道徳」の評価

児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。数値などによる評価は行わない。

#### 児童の学習状況の把握

#### ○ まずは主題設定の理由に基づく「授業の計画」⇨質の高い授業につながる

「主題設定の理由」の三つの観点（解説77ページ）

##### ①ねらいとする道徳的価値について【価値観】

道徳科だけではなく、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育についての教師の指導の構えを表す

##### ②児童の実態について【児童観】

今まで行われてきた学校の教育活動全体で行う道徳教育がどのようなもので、その結果、児童の実態はどうかを示す。

##### ③教材について【教材観】

教材をどのように活用し道徳性を養っていくのか（四つの学習を行っていくのか）を示す。

I 「道徳的諸価値についての理解する」ためにどの場面でどのような指導の工夫をするのか。その指導の工夫で期待する児童の学習は具体的にどのようなものか。その結果、授業の中で、児童はどのような学習をすることができたのか。《学習状況の把握》

II 「自己を見つめる」ために…。(同上)

III 「物事を多面的・多角的に考える」ために…。(同上)

IV 「自己の生き方についての考えを深める」ために…。(同上)

#### ○ 「指導と評価の一体化」が可能になる⇨道徳性を養いうる授業の実現につながる

児童が教師が目指したところまで考え方や感じ方を深めることができていない⇒授業中に指導の立て直しを図る⇒授業後、授業の記録から指導を振り返る⇒次の指導につなげる

#### ○そして「学習状況の把握」

指導の意図と計画がはっきりとしていれば評価する視点が明確になり、その時間、児童がどのような学習を行ったのか把握することができる。

#### ○一人一人の把握の方法

- ・本会議で今までに例示されたもの、御発言の中で取り上げられたもの
- ・毎時間全員を把握することは困難。しかし、毎時間3人ずつ観察対象児にして重点的に見取れば、35人学級で年間3回は、その学習を個々に把握することは可能。

#### 道徳性に係る成長の様子

道徳科の評価は、学校の全体を通じて行う道徳教育の指導・評価の基盤の上に行われるべきものである。道徳教育の評価は児童の成長を願い、よい点や可能性、進歩の様子などを教師と児童の温かな心の触れ合いに基づいて共感的に行われる。児童が自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけとなるようなものでなくてはならない。成長の過程を重視した個人内評価である。その要となる道徳科の評価についても同様であり、「道徳的価値について理解できた、できていない」というような評価ではない。